

# 楽踊楽座 全国行脚 記録

行脚 No.16

日時	2013年6月2日
行脚先	聖山城
住所	兵庫県宍粟市山崎町 (播磨国)
行事名	

## 特徴

別名・筆築山城(ひちりきやま城)とも呼ばれ、1493~1495年頃に下村則真が築城し、その後は代々下村氏が城主だったと言われています。

中小規模ながらも揖保川東岸を押さえ、軍事・交通の要衝に位置し、篠ノ丸城の出城としての機能を果たしていたそうです。

天正8年(1580年)、羽柴秀吉は長水城攻略の際、まず聖山城を攻め落とし、ここに本陣を構えて長水城と篠ノ丸城を攻め落とししたと言われています。

(最新の研究成果で、現在の遺構を照らし合わせて検討すると、その可能性は低いとも言われているようです。

北西の愛宕神社からは篠の丸城、長水城を望むことが出来るため、それが伝承に繋がった可能性もあるそうです。)

麓には筆築神社が建てられており、神社横に登城道が備えられています。

## 黒田官兵衛との関わり

天正8年(1580年)10月、黒田官兵衛は信長から播磨国宍粟郡山崎に1万石を与えられます。

山崎の地を預かった黒田官兵衛は、秀吉の九州平定後、豊前中津に移封となるまで山崎の地を護りました。

黒田官兵衛が城主であった篠ノ丸城の出城としての機能を果たしていたと言われています。

## 記録

